

報 告 書

報告日	平成	28	年	12	月	22	日	分 類					
所 属	企画部広報課							報告者	高野 優花 印				
日 付	開始	28	年	12	月	20	日	時 間	開始	10	時	00	分
	終了	28	年	12	月	20	日		終了	13	時	00	分
場 所	北信支店 2 階会議室												
件 名	第 4 回「みらいろ女子会」交流サイト												

件名について、下記の通りご報告させていただきます。

1. 出席者

<女性農業者>

八木沼恵子さん(庭坂、果樹農家)、紺野奈々子さん(平野、果樹農家)、
齋藤蘭さん(鎌田、きゅうり農家)、須田めぐみさん(梁川、主婦)

< J A >

加藤光一企画部長、佐藤広司次長、高野優花、渡辺洋介

2. 内容

(1)開会 佐藤次長

(2)あいさつ 加藤部長

「みらいろ女子会」の目的は、会員同士のネットワーク作りや消費者への理解促進。交流も大切にしながら、一般消費者への働きかけも行えると良い。組織をあまりガチガチに固めず、負担にならないようにして欲しい。

(3) 協議

①交流サイト製作のこれまでの経過とこれからの計画

事務局より、資料を基に計画等を説明し、(株)READBACKとのやり取りを口頭で説明しました。

<サイトについて>

- 2月下旬オープン予定に伴い、2月中旬にお披露目と管理者へのレクチャーを実施する予定
- 会員登録…サイトの会員＝女子会会員として活動する仲間となるため、ハードルを高め設定
 - ・登録に必須の項目は「氏名(漢字・ふりがな)」「住所」「連絡先(固定 or 携帯)」「メールアドレス」「生年月日」「区分(農業女子・一般消費者・その他)」に決定。
 - ・企業専用フォームを設け、登録項目は「会社名」「所在地」「担当部署」「担当者名」「担当者連絡先」「業種(農林水産業・食料・食料飲料等製造業・その他製造業、卸売小売飲食業、サービス業、その他)」に決定。
- コミュニティ広場のカテゴリ
 - ・「プロジェクト」「レシピ」「農業」「暮らし」「イベント」「セミナー・講座」「その他」の7つに決定。
- その他機能
 - ・メール通知、メールマガジンの運用決定

<活動について>

活動初年度(平成29年度)は事務局で大まかな年間計画を立てて、それについて意見を頂きながら活動を行うことが好ましいという意見が出ました。30年度以降は29年度の活動を参考に、会員同士で意見を交わしながら活動を進めていきます。要望のあった月1回の活動についても、サイト上で事務局が日付を指定しない内容で提案し、企画を固めていきます。基本的に活動はその時に参加できる人のみで行い、会員の負担にならないように配慮していきます。

また、「JAが協賛を行うイベントと連携できないか」という意見があったので、平成28年度(12月末現在)での協賛イベントのリストを作成して、次回の会議の時に出席者に提示したいと思います。

②オープニングイベントについて

2月下旬のサイトオープンに伴い、「みらいろ女子会」の設立とサイトの周知を兼ねたレセプションパーティーを計画したいと思います。会議の意見を踏まえたパーティーの内容は以下の通りです。また、食材提供やブース出店については、会議に出席出来なかったメンバーもいるので個別にやり取りをしながら進めていきます。

<「みらいろ女子会」創立記念レセプションパーティー>

場所：管内のホテルや宴会場

企画・実行者(予定)：阿部小織さん(渡利)、景井愛実さん(仁井田)、紺野奈々子さん(平野)、橘内望さん(東湯野)、齋藤蘭さん(鎌田)、鈴木千秋さん(鳥川)、須田めぐみさん(梁川)、八木沼恵子さん(庭坂)

その他、製作メンバーの交友関係で協力可能な方、事務局

内容：

招待者…行政、関係団体、メディア、JA役職員(農産物PRチーム含)、管内の女性農業者 200人

会費…1人2,000円

開催時間…10:30～13:30

形式…記者会見＋立食パーティー(食材の一部は企画・実行メンバーが提供)、会場内に体験型ブース設置
体験型ブースについて…

【食育】スムージー作り

【会員交流】ミニケーキデコレーション教室、花見山の花を使った押し花作り

【J A・企業】銀嶺食品、内池醸造など2ブース

食材提供、ブース出店については事務局が個別に連絡を取り合います。その他、会員の統一性を図るため、ワンポイントグッズとしてピンバッジを作る他、周知のためにポスターを製作します。

③意見交換・その他

●「みらいろ女子会×福島美少女図鑑」について

内部打合せで話し合った懸念する点(①中身が女性農業者になったときに若い世代が手に取るのか、②紙面に載りたいと思う女性農業者がどれだけいるのか、③中身にどれだけ融通が利くのか、④周囲の反応)を事務局から出席者に伝えました。以下、意見をまとめました。

- ・ページ数を減らして載るが負担にならないようにする
 - ・「みらいろ女子会」紹介冊子として、たくさんの会員を少しずつ紹介する
 - ・載り方によっては載っても良い(若手なのに農業のことを語ると反感を持つ人もいるから)
 - ・福島の農業の安全・安心を伝えるために、子どもの写真や農園の情報をたくさん載せたい
- 以上の意見を踏まえ、再度担当者と話し合いたいと思います。

●日韓交流事業について(八木沼さんより紹介)

庭坂のNPO法人「ふくかんネット」は平成29年2月から3月にかけて、外務省の公募事業を利用して、日韓農業食文化交流事業を行予定。内容は2月に韓国の農業者30人を福島に受け入れて県内各地で様々な体験をしてもらい農業や食、文化に触れてもらう。反対に、3月には福島から20人を韓国に連れて行き、様々な文化に触れてもらう。その中で、施設見学や派遣員でJ Aやみらいろ女子会とコラボできないか、という提案がありました。外務省の決定が12月末に降りるので、その決定内容を見てからJ Aに正式文書を送るとのことでした。

【所感】

報告書の提出が遅れてしまい申し訳ありませんでした。「みらいろ女子会」だけを見ると着実に進んでいますが、県の農業女子プロジェクトと内容や開催時期がかぶっていることが心配な点ではあります。布施部長が話していた通り「差別化」という点で、どのようにアピールできるかももう少し考えたいと思いました。ですが、製作メンバーと意見交換しているだけの現時点で、メンバーからの提案や要望、企業からの提案などもあることは事実です。いろいろな心配はありますが、迷った時は基本に戻り、県には無い「身近で気軽な女子会」を作っていきながら、地域の農業を盛り上げていきたいです。ご協力よろしくお願い致します。